

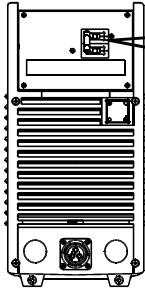
8. 点灯準備と確認

《K S X-80 M H X Pの場合》

ランプを点灯する前に必ず以下の確認を行ってください。

注) 保護手袋、保護面を必ず着用してください。

<バック>



電源スイッチ

① ONにする





注) ブレーカスイッチですが、電流制限器としては使用していません。
内部回路が短絡した場合は、ブレーカとして機能しますが、通常、電源スイッチとして入/切に使用しています。

●ブレーカスイッチON


- a. ブレーカスイッチをONにしてから、3秒間は、無表示です。
- b. 次の5秒間、インシャライズ（初期化）が行われます。この間は、全ての操作が無視されます。
- c. インシャライズの後半で、内蔵の排気ファンが最大回転します。これは、ファンの回転トルクを得るためです。その後、定常回転となります。
「実電流値」の表示で、点灯可能状態となります。

ブレーカスイッチON

無表示 3秒  A

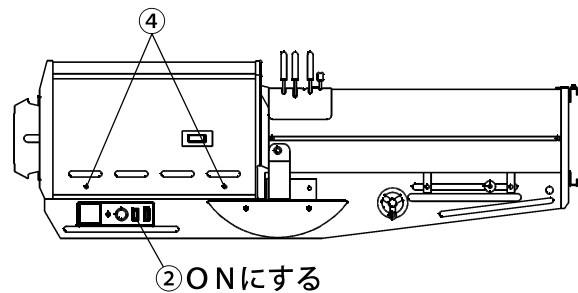
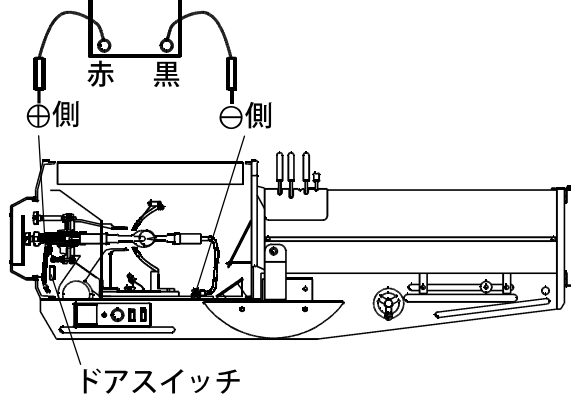
インシャライズ表示 5秒  A

※インシャライズ中、「FULL」のLED点灯

「実電流値」の表示  A

点灯可能 (灯体のファン電源ON)

テスタ  ③極性確認



- ① 整流器に電源が供給されていることを確認し、電源スイッチをONにしてください。
- ② 灯体の本体電源スイッチをONにしてください。
- ③ 灯体のランプの+/-極性をテスタで確認します。
灯体の後ドア、本体ドアを開け、ドアスイッチを押しながら、以下の操作を行ってください。
テスタをDCレンジに設定し、⊕側リード線端子にテスタの+を、⊖側ランプリード線端子にテスタの-をあて、測定値が+の値 (+に振れる) であることを確認してください。

注) 測定値が-の値 (-に振れる) の場合は、DCコードの接続が+/-逆に接続されています。確認してください。無負荷電圧DC 135V以上が定格値です。

- ④ 確認が完了したら、灯体の本体ドアを閉め、本体ドア固定ビスで本体ドアをしっかり閉めてください。

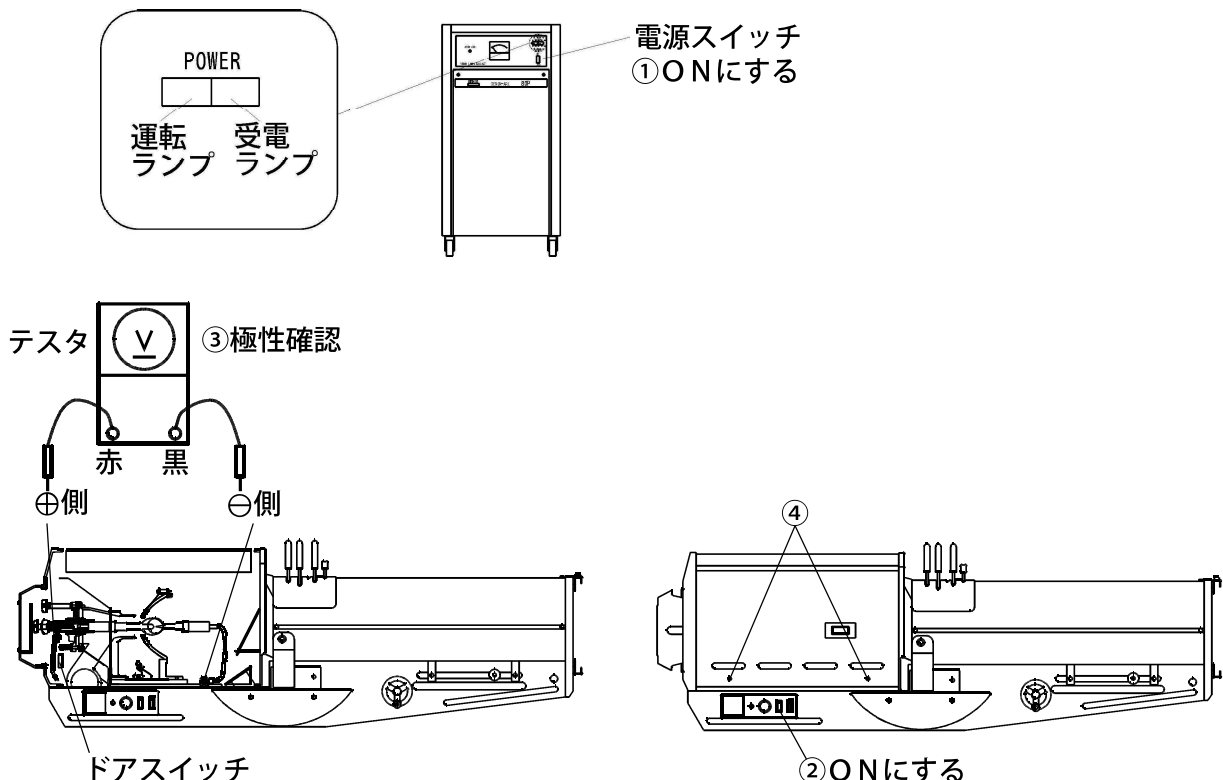
注) 本体ドアを閉めるとドアスイッチを押します。本体ドアが開いているとランプは点灯しません。

- ⑤ 灯体内の各冷却ファンがランプを冷却しているか、確認してください。

《KCX-80P1の場合》

ランプを点灯する前に必ず以下の確認を行ってください。

注) 整流器に電源を入力すると受電ランプ（赤ランプ）が点灯します。保護手袋、保護面を必ず着用してください。



- ① 整流器の受電ランプが点灯していることを確認し、電源スイッチをONにしてください。

注) KCX-80P1の場合は、運転ランプが点灯します。

- ② 灯体の本体電源スイッチをONにしてください。

- ③ 灯体のランプの+/-極性をテスタで確認します。

灯体の後ドア、本体ドアを開け、ドアスイッチを押しながら、以下の操作を行ってください。

テスタをDCレンジに設定し、⊕側リード線端子にテスタの+を、⊖側ランプリード線端子にテスタの-をあて、測定値が+の値（+に振れる）であることを確認してください。

注) 測定値が-の値（-に振れる）の場合は、DCコードの接続が+/-逆に接続されています。確認してください。

KCX-80P1の場合は、DC85V（+10V/-5V以内）が定格値です。

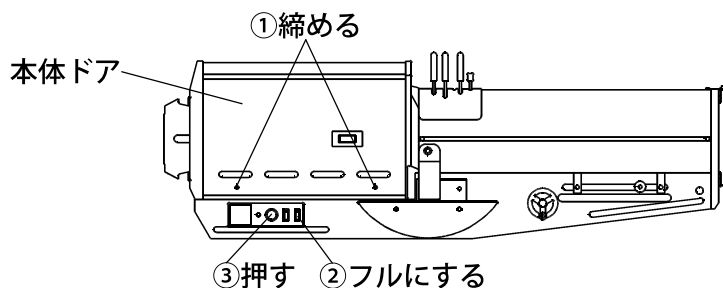
- ④ 確認が完了したら、灯体の本体ドアを閉め、本体ドア固定ビスで本体ドアをしっかり閉めてください。

注) 本体ドアを閉めるとドアスイッチを押します。本体ドアが開いているとランプは点灯しません。

- ⑤ 灯体内の各冷却ファンがランプを冷却しているか、確認してください。

9. ランプ点灯

灯体および整流器のセッティングが全て完了したことを確認してください。



① 灯体の本体ドアがしっかり閉じていることを確認してください。

**注) ドアには、ドアスイッチ (セーフティスイッチ) が付いています。
確実に閉じないとランプ点灯できません。**

② 灯体の本体電源スイッチがONになっていることを確認し、フル/ハーフスイッチをFULL側にしてください。

③ 灯体の点灯スイッチを押し、ランプを点灯してください。

注) ランプ点灯中は、灯体の本体ドアを開けないでください。

10. ランプ電流の調整

適合ランプ（U X L - 2 0 0 0 P R 1）の適正使用電流値は65 A前後です。
適正使用電流値に電流値を設定してください。

注）連続点灯時の最大電流値は、70 Aです。

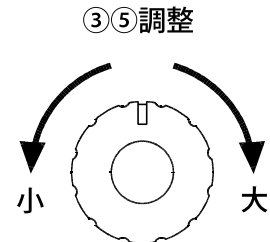
注）適正使用電流値以上の電流をランプに入力するとランプの寿命が短くなります。

《K S X - 8 0 M H X P の場合》

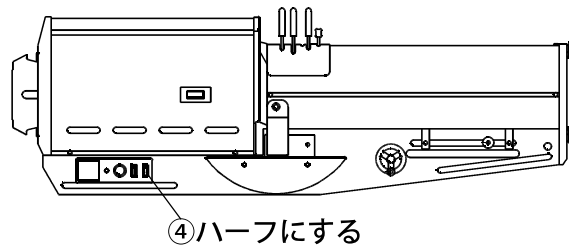
(1) フル電流の調整方法

- ① ランプが、点灯していることを確認してください。
- ② 灯体のフル／ハーフスイッチをFULL側にしてください。
- ③ フロントクリアカバーを開け、電流調整つまみ（エンコーダ）を回して調整します。

※電流調整範囲は、50 A～70 Aです（出荷時65 A）。



(2) ハーフ電流の調整方法



- ④ 灯体のフル／ハーフスイッチをHALF側にしてください。
- ⑤ 電流調整つまみ（エンコーダ）を回して調整します。

※電流調整範囲は、35 A～45 Aです（出荷時35 A）。

(3) フル／ハーフ最大電流値の設定／解除方法

エンコーダの回し過ぎによるフル／ハーフの最大電流値を制限できます。
フル／ハーフ各時において行います。

● 「最大電流値」の設定

- a. 予め設定したい「最大電流値」をエンコーダを回して調整します。
- b. エンコーダを5秒間長押しします。
設定された「最大電流値」を表示すると共に
"ピッ"という音で設定完了です。
以後、エンコーダを回しても、設定した
電流値以上には上がりません。

エンコーダ長押し5秒

現在の「設定電流値」を 2秒間表示 A

「実電流値」を表示 A

"ピッ"という音と同時に設定された「最大電流値」を表示して完了 A

● 「最大電流値」の設定解除

- a. エンコーダを5秒間長押しします。
- b. 設定された「最大電流値」を表示すると共に
"ピッ"という音で設定解除です。
以後、エンコーダを回して調整ができます。

エンコーダ長押し5秒

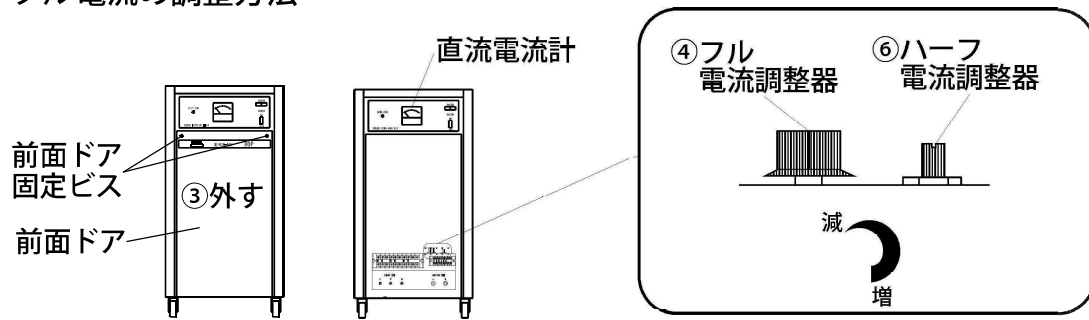
現在の「設定電流値」を 2秒間表示 A

「実電流値」を表示 A

"ピッ"という音と同時に設定された「最大電流値」を表示して設定解除 A

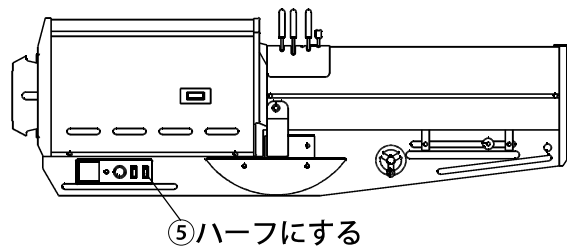
《KCX-80P1の場合》

(1) フル電流の調整方法



- ① ランプが、点灯していることを確認してください。
- ② 灯体のフル／ハーフスイッチをFULL側にしてください。
- ③ 前面ドア固定ビスを外し、前面ドアを外してください。
- ④ 整流器内右下にあるフル電流調整器のボリュームを回して設定してください。
設定値は、整流器の直流電流計に表示されます。

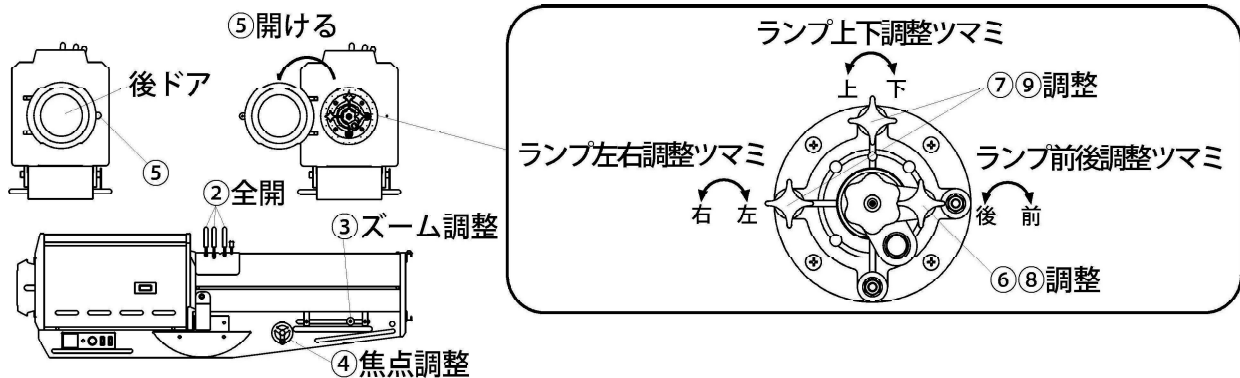
(2) ハーフ電流の調整方法



- ⑤ 灯体のフル／ハーフスイッチをHALF側にしてください。
- ⑥ 整流器内右下にあるハーフ電流調整器の軸棒を⊖ドライバーを用いて回し、設定してください。
設定値は、整流器の直流電流計に表示されます。

1 1. 光学調整

(1) ランプ調整



- ① 灯体のランプが点灯していることを確認してください。
- ② アイリスシャッター、カッター、ドウサカッターの各レバーを動かして全開にしてください。
- ③ ズームハンドルを動かして照射円を大きめに設定した後、ズームハンドルを回して、固定してください。
- ④ 焦点調整ハンドルを回し、照射円のピントを合わせてください。
- ⑤ 六角穴付ツマミを回し、灯体後ドアを開けてください。
- ⑥ ランプ前後調整ツマミを回し、照射円内に明るい部分を作ってください。
- ⑦ ランプ上下調整ツマミおよびランプ左右調整ツマミを回し、照射円内の明るい部分を照射円の中心に移動させてください。
- ⑧ ランプ前後調整ツマミを回し、照射円の光の分布を任意に調整してください。
- ⑨ 明るい部分の中心がずれていた場合は、再度ランプ上下調整ツマミおよびランプ左右調整ツマミを回し、明るい部分を照射円の中心に移動させてください。

(2) リフレクタ調整

ランプ調整を行っても光の分布が極度に不均衡な場合、照射円の明るさが極度に暗い場合は、リフレクタの調整が必要です。ご使用を控えて弊社へ問い合わせ願います。

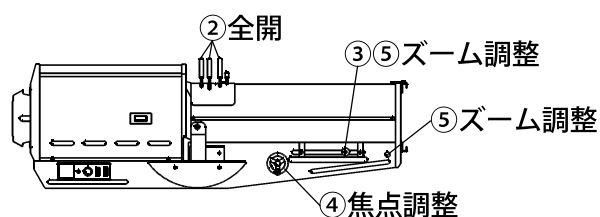
(3) アーク安定調整

ランプのアーキが上または下に偏っている場合は、ご使用を控えて弊社へ問い合わせ願います。

(4) フォーカス調整

灯体のズームハンドルの移動による照射円のピントのズレをできるだけ少なくなるように、以下の手順で調整してください。

- ① 灯体のランプが点灯していることを確認してください。
- ② アイリスシャッター、カッター、ドウサカッターの各レバーを動かして全開にしてください。
- ③ ズームハンドルを灯体後方に引いてください。
- ④ 焦点調整ハンドルを回し、照射円のピントを合わせてください。
- ⑤ ズームハンドルを灯体前方に移動させ、ズーム調整ツマミを回し、照射円のピントを合わせてください。
- ⑥ ③～⑤の操作を数回繰り返し行い、ズームハンドルの移動による照射円のピントのズレをできるだけ少なくしてください。

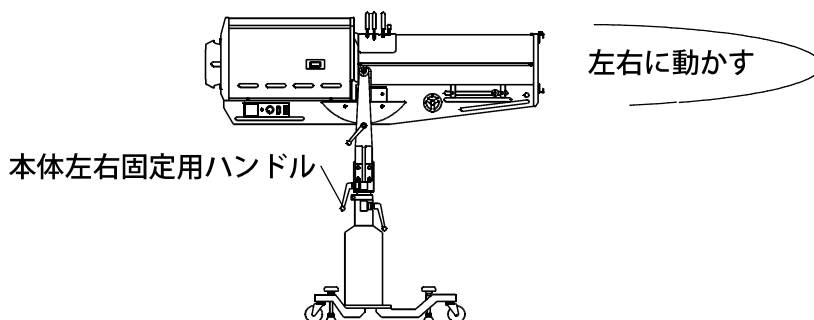


1 2. 各部の操作方法

(1) 灯体を動かす

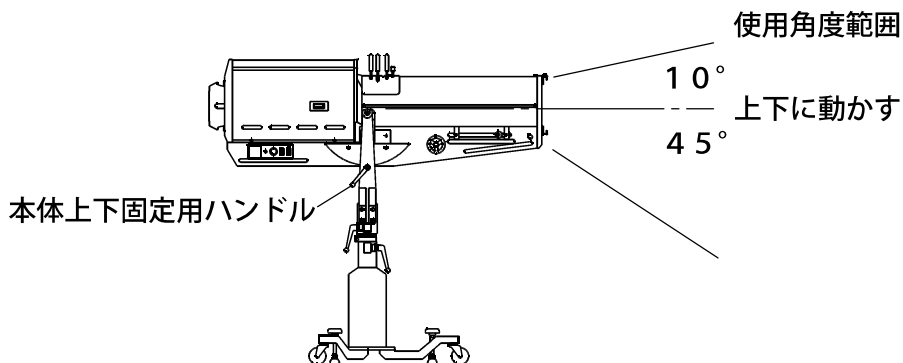
(a) 灯体を左右に動かす場合

本体左右固定用ハンドルを回し、緩めてください。



(b) 灯体を上下に動かす場合

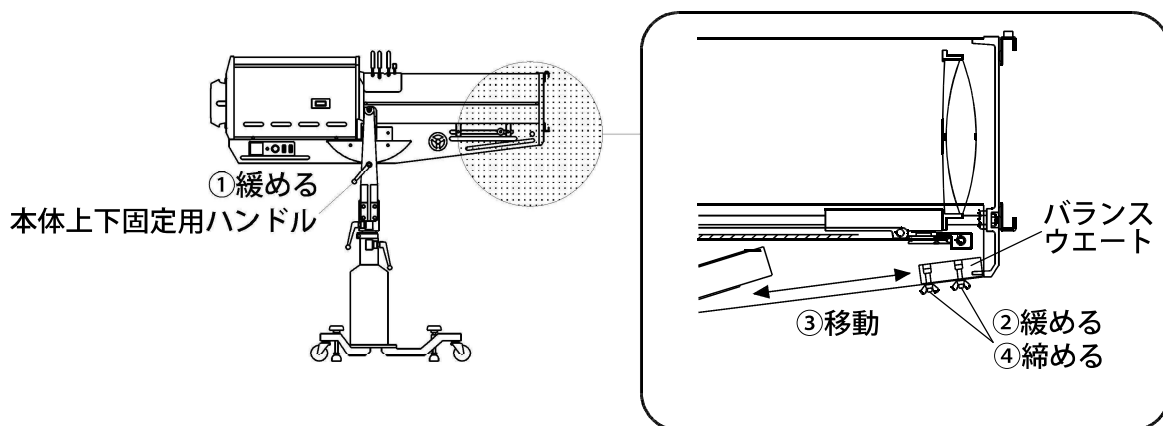
本体上下固定用ハンドルを回し、緩めてください。



(c) 灯体のバランスを調整する場合

灯体を上下に動かす際、灯体の上下のバランスが悪く、動かしにくい場合は、灯体のバランスウエートを動かし、バランスを調整してください。

- ① 灯体が楽に動く程度に本体上下固定用ハンドルを緩めてください。
- ② バランスウエート固定ビスを回し、緩めてください。
- ③ バランスウエートを移動させ、灯体の前後のバランスを調整してください。
- ④ バランスウエート固定ビスを回し、バランスウエートを固定してください。

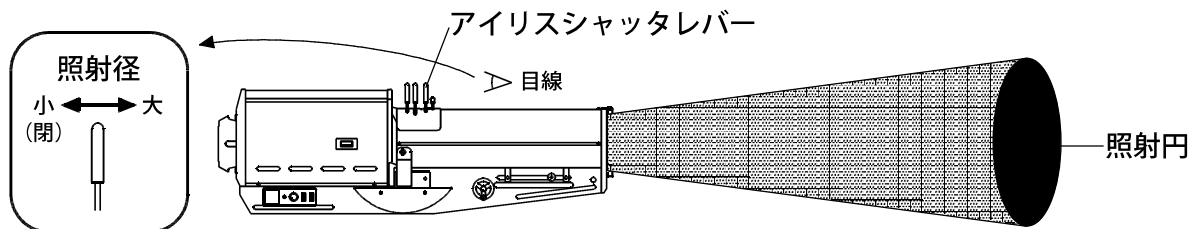


(2) アイリスシャッター<照射円の大きさを変える>

灯体のアイリスシャッターレバーを左右に動かすことにより、照射円の大きさを自由に変えることができます。

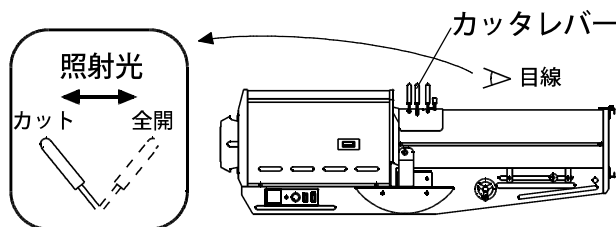
注) ランプ点灯中に、アイリスシャッターのみを長時間閉じたままにすると、ランプの熱により、アイリスシャッターが焼けて、消耗が早まります。

アイリスシャッターを閉じた後、できるだけ早めにカットを閉じて、アイリスシャッターに直接熱を加えないようにしてください。



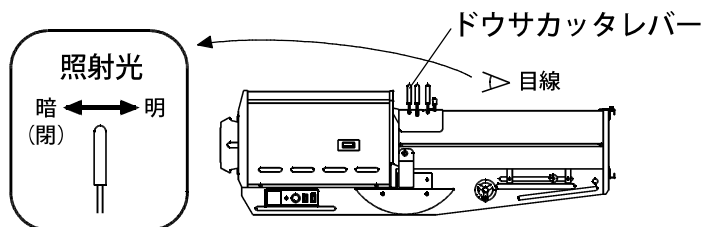
(3) カット<光をカットする>

灯体のカットレバーを左に倒しきると、光の照射を遮断することができます。



(4) ドウサカタ<光の明るさを調整する>

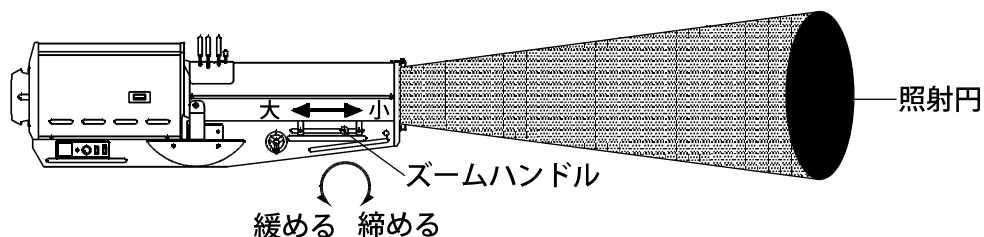
灯体のドウサカタレバーを左右に動かすことにより、照射円の明～暗を調整できます。光のフェードイン/フェードアウトを自由に行うことができます。



(5) ズーム調整<照射円の大きさを調整する>

灯体のズームハンドルを回し、ズームハンドルが自由に動かせる程度に緩めてください。ズームハンドルを移動（前～後）することにより、照射円の大きさ（小～大）を調整できます。

注) ズームハンドルの移動により、照射円のピントがズレてしまう場合は、【P26：「(4) フォーカス調整」を参照してください。】

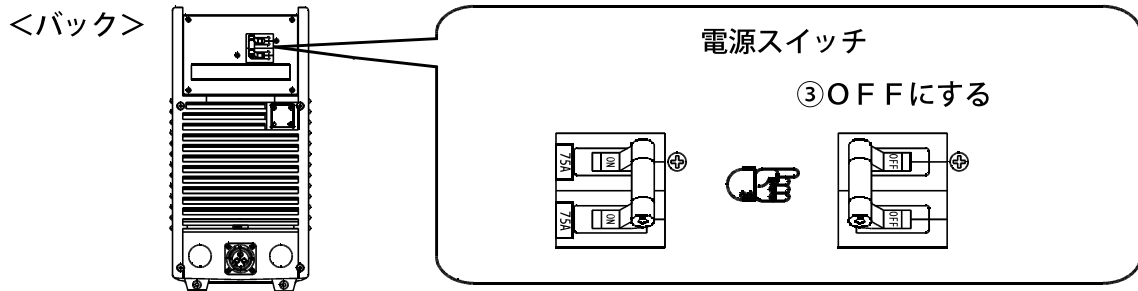
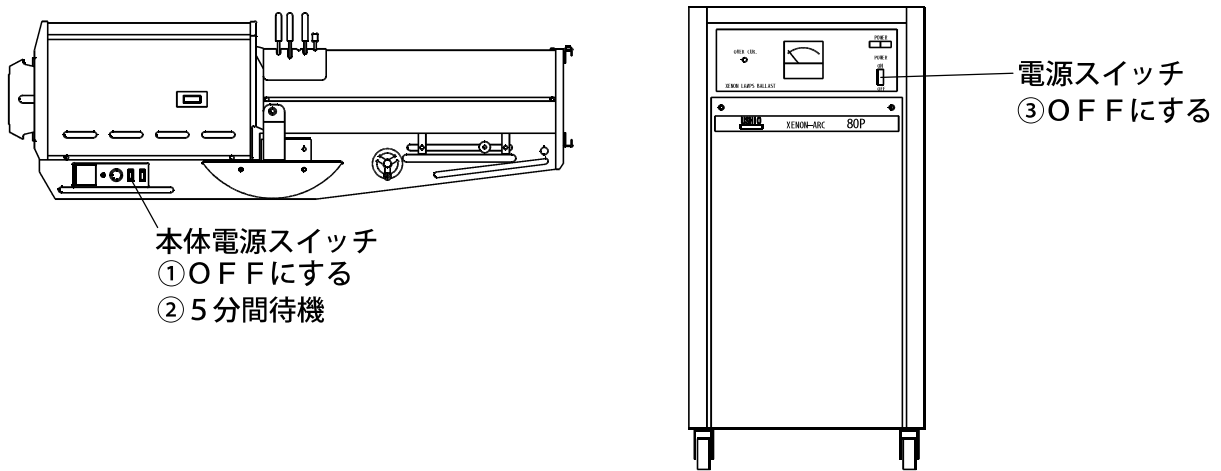


1 3 . 終了

以下の終了手順で操作を行ってください。

- ① 灯体の本体電源スイッチのOFF側を押し、ランプを消灯させてください。
- ② 本体電源スイッチをOFF後、約5分間のファンタイムが働き、自動的に冷却ファンが停止します。
ランプ消灯後すぐに整流器の電源をOFFにしないでください。
ランプ冷却のため最低5分間は冷却ファンを動作させてください。
- ③ 整流器の電源スイッチをOFFにしてください。

注) 必ずランプ消灯後、最低5分間はランプ冷却を行ってから、整流器の入力電源（ブレーカ等）をOFFにしてください。



- ブレーカースイッチOFF
 - ①ブレーカースイッチをOFFにしてからも、現在の表示が維持されます。
 - ②完全にOFFになるまで、5秒掛かります。

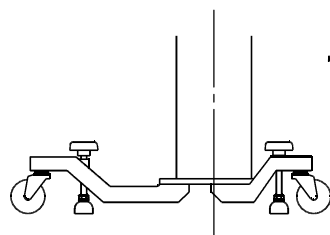
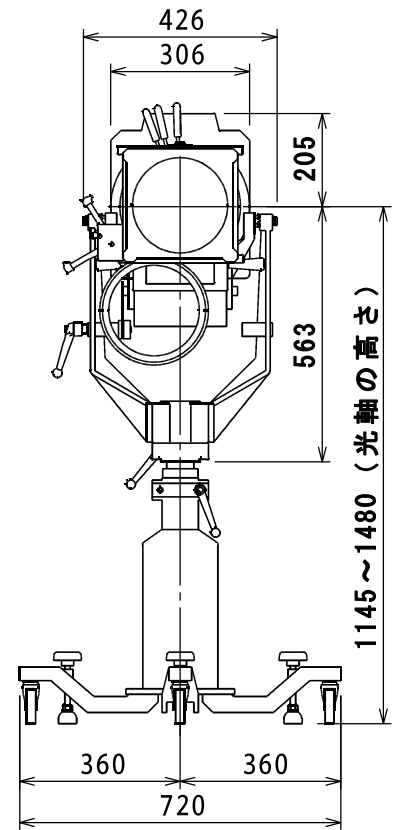
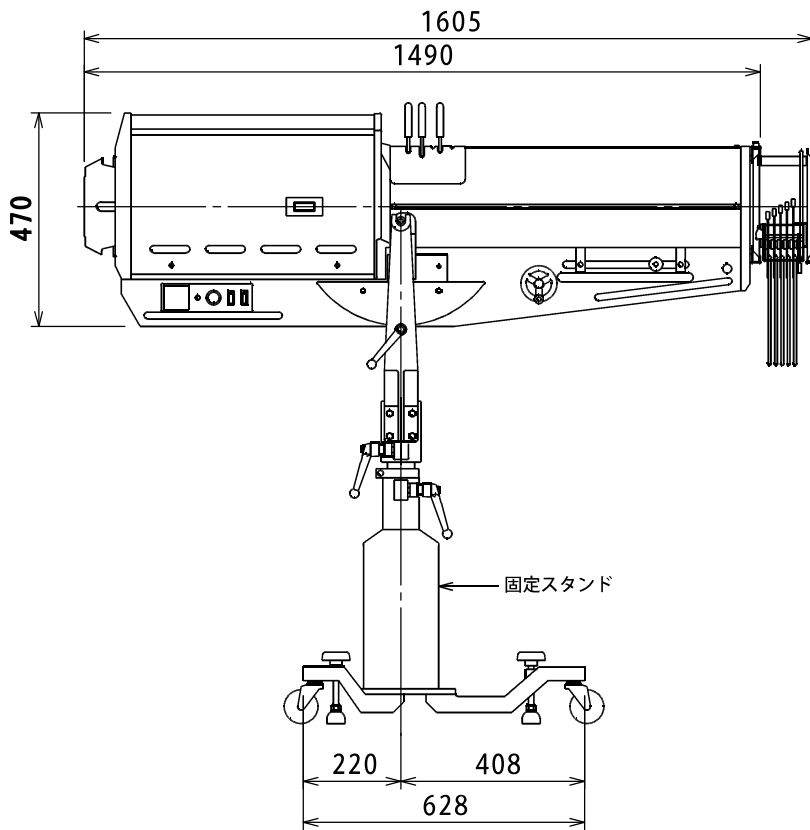
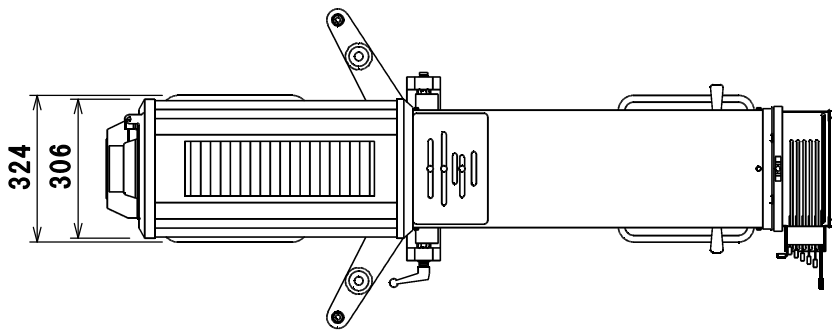
ブレーカースイッチOFF

「実電流値」の表示 5秒 A

完全OFF A

※LED:FULL、LED:HALFは、フル/ハーフSWに依存して消灯。

外観寸法図 (XPS-2008SR/e)

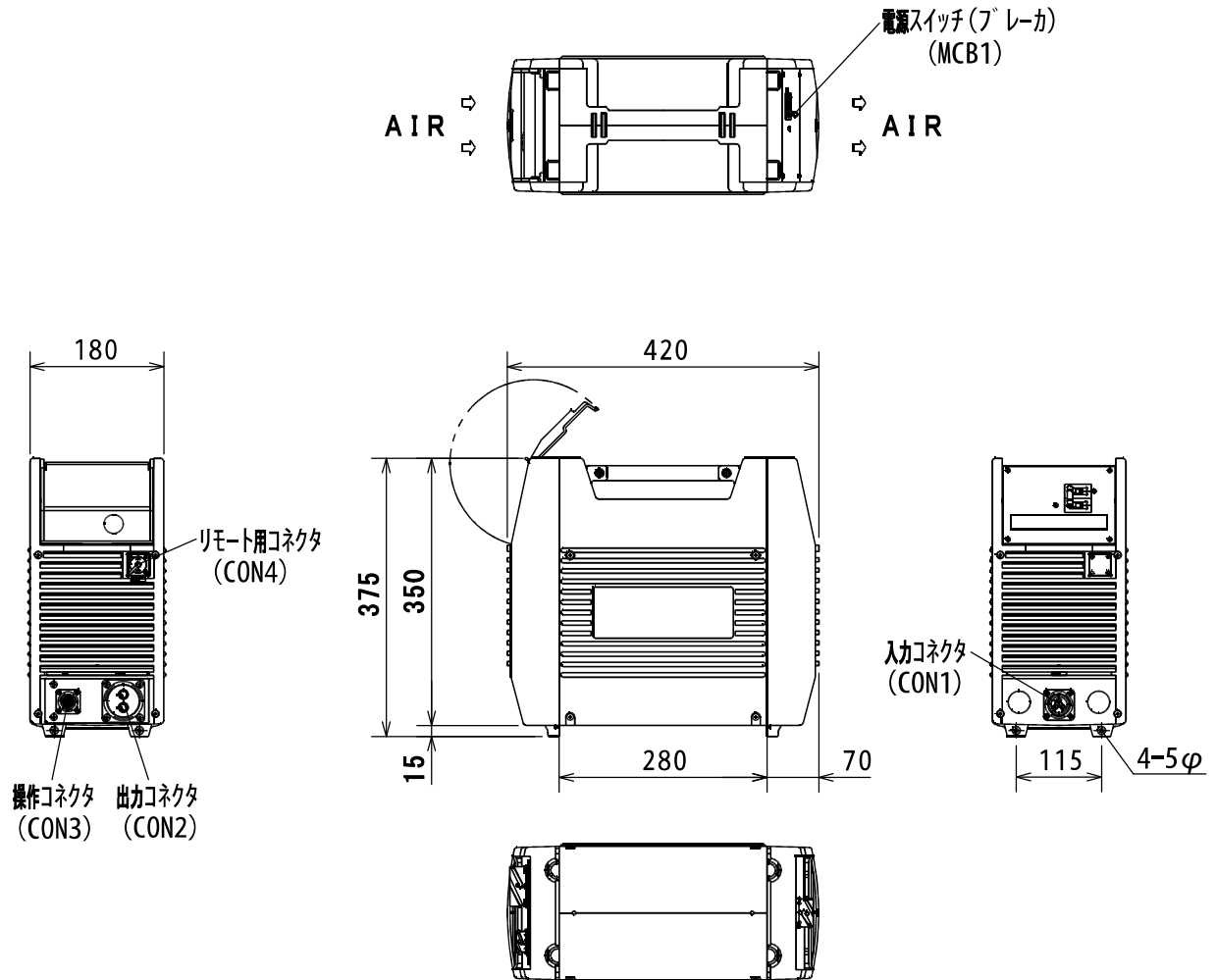


10° 以上傾けると転倒！！

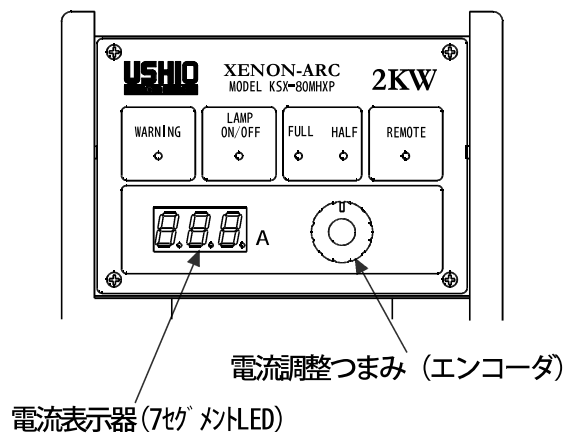


脚の向きを上図の向きで使用する場合は、スタンドの高さ（光軸の高さ）を1230mm以上上げないでください。
10° 以上前方に傾けると転倒する恐れがあります。

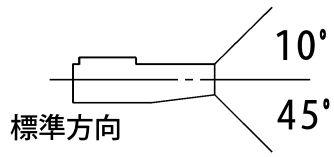
外観寸法図 (K S X - 8 0 M H X P)



<フロントパネル>



17. 主な仕様

機 器 構 成		主 な 仕 様				
灯体型名	XPS-2008SR/e	最高周囲温度	40℃			
		最高表面温度	124℃			
		最小照射距離	6m			
		最小離隔距離	0.3m			
		使用角度範囲				
		ケーブルおよび接続	DCケーブル：2PNCT22mm ² ×2C×5mコミタルコネクタ付 操作ケーブル：2PNCT1.25mm ² ×6C×5mコミタルコネクタ付			
		本体質量	6.1kg			
		本体寸法	H470×W426×D1490mm			
		照度データ	照射距離	最小照射径	照 度	
			2.0m	1.1m	32,000 lx	
			3.0m	1.7m	14,000 lx	
			4.0m	2.3m	8,000 lx	
			5.0m	2.9m	5,000 lx	
			6.0m	3.4m	3,500 lx	
7.0m	4.0m		2,600 lx			
8.0m	4.6m		2,000 lx			
ス -ム比：2倍以上						
騒 音	距離1m 42dB以下					
材 質	アルミ鋳物と薄鋼板製					
塗装色(マンセル値)	本体ドア・前面カバー：5Y7/2 上記以外本体：10YR3/2(チタミ)					
適合ランプ	UXL-2000PR1	点灯電圧	DC25V (+3V/-1V)			
		定格消費電力	1,750W			
		定格電流	DC70A (実用電流範囲56~70A)			
		全光束	64,000 lm			
		色温度	約6,000K			
		冷却方法	強制空冷6~9m/s			
		器具取付ランプ平均寿命	1,000H			

機 器 構 成		主 な 仕 様	
適合電源ボックス (整流器)	KSX-80MXP	定格電圧	単相100V~120V ----- 単相173V~240V
		消費電力(入力量)	(定格入力時: 4.2kVA)
		定格周波数	50 / 60 Hz
		入力電流※1	100V時: 42A ----- 200V時: 21A(60A以下)
		入力コード	2PNCT8 mm ² ×3C×5m ----- コミタルコネクタ付, 片側先バラ (附属品)
		入出力コードの機種	コミタルコネクタ接続
		質量	1.4 kg
		寸法	H375×W180×D420mm
		騒音	距離1m後 53dB以下
		塗装色	黒 (ABS樹脂)
適合電源ボックス (整流器)	KCX-80P1	定格電圧	3相173V/200V±10%
		消費電力(入力量)	3,400W(200V時MAX:4.2kVA)
		定格周波数	50 / 60 Hz
		入力電流※1	14A(26A) 173V時/12A
		入出力コードの機種	端子接続
		質量	6.3 kg
		寸法	H745×W385×D440mm
		騒音	距離1m後 43dB以下
塗装色	正面: N-7.0(マンセル値) 正面以外: N. D. G		
スタンド	ST-2K/e	材質	アルミ鋳物と鉄パイプ
		質量	4.1 kg
		寸法	H702~1037×W720×D628mm
		塗装色(マンセル値)	10YR3 / 2 (芥ミ)

※1: () 内は突入電流